



## 防災・減災プラットフォーム「cmap」に WheelLog のバリアフリー情報を追加 ～災害発生時に安心・安全・簡便な避難に活用できるツールを構築～

2022年3月24日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：金杉 恭三）は、災害時の建物被害予測棟数などを無償公開している cmap に一般社団法人 WheelLog（代表理事：織田友理子以下「WheelLog」）のバリアフリー情報を3月より追加します。自然災害リスク情報とバリアフリー情報を一元的に確認できるツールの提供は、業界初となります。

### 1. 背景

当社は、SDGs を道しるべに社会との共通価値の創造に向けた取り組みを推進しており、その一環として2019年6月より Web 上で cmap の無償公開を開始しました。cmap を通じた防災・減災に役立つ情報の発信やアプリ化により、災害時における被害の未然防止や極小化に貢献しています。

また、WheelLog は、「車いすでもあきらめない世界をつくる」をミッションに、健常者と障がい者が一緒に活動し共有できるバリアフリー情報のプラットフォームの構築を推進しています。

当社と WheelLog は、2021年4月からバリアフリーマップを生成する「WheelLog!」アプリで得たバリアフリーデータと、当社または自治体の保有するバリアフリー情報や防災関連データを相互活用し、共生社会に資する取り組みやスマートシティの推進を検討してきました。\*1

このたび、災害発生時に移動が困難な方が安心・安全・簡便に避難できることを目指し、WheelLog のバリアフリー情報を cmap アプリで閲覧できるサービスを提供することとしました。

\*1 WheelLog とユニバーサル都市デザインの促進に関する共同取り組みを開始

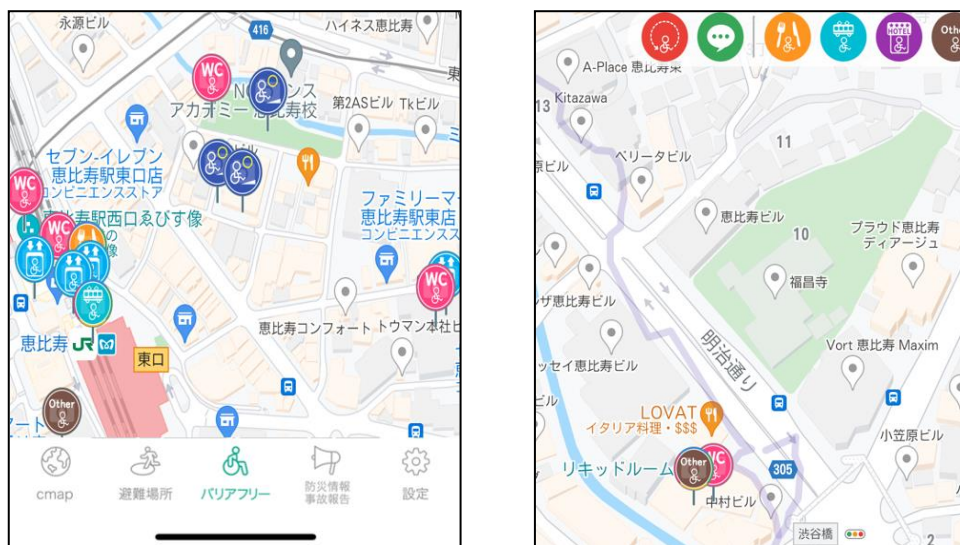
([https://aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2021/news\\_2021040900845.pdf](https://aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2021/news_2021040900845.pdf))

### 2. 取り組み概要

cmap アプリに WheelLog の「バリアフリースイッチ」や「車いすの走行ログ」等のバリアフリー情報\*2を表示します。これにより、cmap アプリで災害時の被害予測や避難所情報を確認する際に、現在地や避難所周辺のバリアフリー情報も同時に把握することが可能となります。

\*2 バリアフリースイッチ、スロープ、エレベーター、車いすの走行ログ等

#### <アプリ画面イメージ>



(注) バリアフリー情報は cmap アプリのみ表示します (cmap ウェブサイトには表示されません)。

### 3. 今後の展開

今後は、WheelLog のバリアフリー情報を活用し、cmap アプリで現在地から避難所までの経路表示機能の追加なども検討していきます。

また、本取り組みを通じて、車いす利用者の移動における様々な課題解決に取り組むとともに、データ・デジタルトランスフォーメーション（DX）を活用した共通価値創造（CSV）に資する保険商品・サービスの開発・提供により、「レジリエントな街づくり」の実現に貢献していきます。

#### <WheelLog の概要>

団体名：一般社団法人 WheelLog

<https://wheelog.com>

所在地：〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-15-2

九段坂パークビル 4 階 M&K コンサルタンツ内

設立：2018 年



#### <WheelLog!アプリについて>

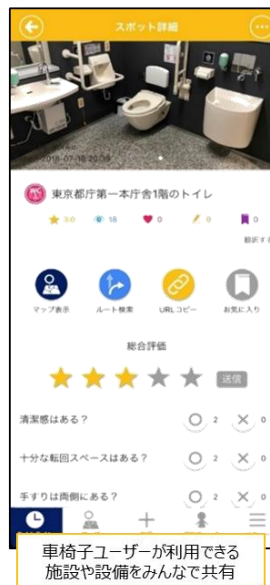
WheelLog! は、車いすで実際に通った道や、ユーザー自身が実際に利用したスポットなど、ユーザー体験に基づいたバリアフリー情報が集まっている「ユーザー投稿型」のバリアフリーマップです。スマートフォンのアプリで提供しており、どなたでも無料でご利用いただけます。健常者の方々が協力することによって飛躍的に情報量が増えるため、ぜひアプリをダウンロードの上、積極的に投稿ください。

なお、今回 cmap アプリに表示するバリアフリーデータは閲覧機能で、WheelLog!アプリの機能はご利用いただけません。また、WheelLog!アプリに cmap アプリの情報を表示する機能はありません。

QRコードからアプリをダウンロード



ユーザーが車椅子で通った道をマップ上で共有



車椅子ユーザーが利用できる施設や設備をみんなで共有



車椅子ユーザー、健常者が投稿することで世界中のバリアフリー情報をアプリで共有

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。

